

育成人材像

国際社会で強いリーダーシップを発揮できる人材を育成します。そのためには、国際的な視野、語学力と異文化理解力、柔軟な発想と行動力が欠かせません。国際文化学科では、学生のこうした力の向上を目指して、教育をおこないます。

育成能力

読む・書く・話す・聞くの四技能を基礎から上級まで学ぶことで、実践的な英語力を身につける。

英語以外の諸言語を第二外国語として学び、そのコミュニケーション能力を身につける。

情報社会で必要とされるパソコンやインターネットなどに関する知識と技能を修得し、実務能力を養う。

日本文化を世界的視野で捉え直す。また、世界の文化を概括的に学んだうえで日本との比較により理解を深める。

社会と文化の視点から日本と諸地域の関係を学ぶ。

各国・各地域の歴史の知識を習得したうえで、日本と諸地域の文化交流史を学ぶ。

各地域の文学を学んだうえで、日本文学へ影響やグローバル社会における新しい文学のあり方を知る。

コミュニケーションの基礎を学び、さらに異文化間コミュニケーションの基礎能力を育成する。

英語と日本語の知識と教育、その関連領域を学び、言語を用いる専門技能と教育の場における実践力を育成する。また、中国語と韓国語の会話能力の習得を基礎として日中・日韓の翻訳・通訳の基礎知識と技法の基本を習得する。

絵画・映像文化に関する基礎知識を習得し、視覚文化・表象文化の読み解き方を学ぶ。

現代社会を女性という観点から学び、その問題と解決策を考える力と自らのキャリアを形成する力を養う。

国際教養として国内外の政治・経済・法律等を学び、日本とグローバル化社会の社会的基礎を身につける。また、特に、日本の隣国であり、経済的影響も大きい中国の経済・産業・ビジネスに焦点を当てる。

人間や文化を知る視点として宗教・倫理・地理を学ぶ。

文化資源の保存や活用を行う機関として博物館・美術館およびその業務について学ぶ。

1・2年次は大学での学習に必要なスキルと社会人となるための基礎力を身につける。3年次からは専門的な知識を学び、自ら学び、発信する能力を養う。並行して自身のキャリアについて考え、希望進路に向けての準備を行う。

海外研修によって外国語でのコミュニケーションとその地域の文化と社会を体験し、自らの視野を広げる。その体験を長期の留学や海外インターンシップでの活動に発展させ、国際社会で活動する基礎能力を育成する。

スポーツを、健康や生涯学習と関連させながら学び、実践するための基礎力を身につける。

自分で学ぶことを企画立案し、実践する能力を身につける。

地域や大学について考え、地域振興を企画実践する。

Table with 4 columns: Course Name, Prerequisites, Corequisites, and Notes. Rows include English, Second Foreign Language, Information, Regional Culture Comparison, Society, History, Literature, Communication, Linguistics, Visual Culture, Gender Studies, Politics/Law/Economics/Business, Religion/Ethics/Geography, Museum Studies, Practicum, Internship, Sports, and University/Region.